

コラム

《腰折れ文》 十七、

渡邊澄子（会員）

新年、明けましておめでとつございます。皆様、恙なく初春をお迎えでしょうか。私の本音はちっともお目出度くなんてありません。この国はどうなってしまうのか不安でなりません。

この種の原因の宿命として時事問題が旧聞になってしまふ不条理、ご勘弁ください。怒り心頭（近年、やたらに多い）の事象の前に。今となれば新鮮味なしだが、何と十六歳の紀平梨花さんがSP五位からGP初挑戦で逆転優勝、二刀流の大谷翔平さんが一年目で新人王、十一歳の高橋翔君が実用数学技能検定で大学生レベルの一級合格、羽生結弦さんが怪我に堪えて優勝。持って生まれた才能もあるだろうが並大抵でない努力があつての結果だろう。凄いの一語に尽きる。凄いの中身の真逆は鳴り響くゴーン、ゴーンの鐘の音。八年間で百六十億円、億ですよ、の

企業報酬のほか私的消費や損失も企業持ちだったとは！想像力が届かず実感がわかない。私はずっとトヨタを愛用していたのに知人に懇請されて初めて日産車にしてしまった。後悔先にたたず。九州と四国の名湯めぐり四日間の旅「ななつ星 in 九州」は六十八〜八十八万円だが既に五千人以上が乗車しているという。そんなお金持ちがいるんだと呆れかえったが、ゴーンは朽はずれだ。年収二百万円以下の非正規就業者、さらには、外国からの実習生には、週一三〇時間労働、月収九万円から光熱費他として五万円差し引かれ、送金どころか、自分の生活にも事欠き、思いあまつての失踪の実態が暴露されたのに入管法の強行採決は、人手不足の理由からも戦時中の徴用工虐使を思い起こさせる。性質は異なるが、首都圏中心に尿入りペットボトルのポイ捨てが問題化している。荷

主に有料道路料を貰えず、渋滞でも遅れを許されずトイレにいけないトランク・ドライバーの窮余の仕業らしいがどうかと思う。この不道徳も弱者虐待の範疇に入るだろう。ゴーンには無縁の現実。

以下は時系列を無視して言わねばならぬことを箇条書き的に。安田純平さんが三年四カ月の拘束から解放されての帰国に、ああ、よかった！と胸をなで下ろしたが、自己責任論のバッシング。命を賭しての取材活動をあなたにできるか、と問いたい。身震いする恐怖は、サウジアラビア政府を批判してきた著名記者が結婚に必要な書類を取りに行ったトルコのサウジ総領事館で殺され、刻まれて薬品で溶かされたという。身の毛がよだつ。

去年は明治百五十年。明治を近代国家の礎を築いた栄光の時代と政府は称えたがとんでもない。帝国憲法・民法・教育勅語等々、差別固定化、富国強兵で侵略路線に突っ走った、とりわけ女性にとっては恨み骨髄の時代なのだ。差別と言えば、寄り添うを常套句にしながら県民の生活や宝の自然の破壊を強行する辺野

古問題には我慢の緒が切れる。医大の不正不合格事件も。東京医大は不合格にされた受験生救済策として、当人が望めば追加入学させるというがなぜか全員ではない。その数を今年の合格者から差し引くというが、今年の受験生にとって差別になるだろう。納得できない。

国連の核兵器廃絶決議案が百六十九国の賛成で採択されたが、棄権の米国の顔色伺いか、唯一の被爆国としての立場から核保有国と非保有国の橋渡し役を自任する日本の態度は曖昧だ。河野太郎をハト派と想っていたら、外相になった途端に安倍派になってしまった。情けない。第四次安倍改造内閣は改憲に意欲を燃やす。安倍氏を頭に、片山・桜田・麻生氏らを抱えた内閣に支配されたくない。モリ・カケ問題まだ終わってませんよ。

「宇宙開発高まる期待」、「火星に米探査機着陸」などの記事に接すると、宇宙を飛び回っている膨大な数のこれらが世界的な異常気象に影響しているのではないかと無知者は科学の進歩に空恐ろしさを感じてしまふ。